

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画

廿日市市立吉和小・中学校

児童生徒の実態	《学校教育目標》		保護者の願い
	自分を育て 人とつながり 自己実現する 児童生徒の育成		
・コミュニケーション能力を身につけ、自己の考えを表現でき、将来に見通しを持つことができるようにする必要がある。	「総合的な学習の時間」の目標		・吉和を好きになり、吉和に貢献できるような人になってほしい。そのために、基礎学力、社会性を身に付け将来を見通す力を身につけてほしい。
	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、学び方やものの見方を身に付け、主体的に仲間と協力して課題を解決するとともに、自己の在り方、生き方を考えることができるようにする。 (1)吉和地域に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、吉和地域の良さや課題に気づき、吉和の人たちとの交流を通して人間関係形成力を身につける。 (2)吉和地域の人も、もの、ことの中から課題を見い出し、解決までの見通しをもち、情報収集、整理、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・説明する力を身につける。 (3)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、吉和地域における持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。		
	つきたい資質・能力		
	①課題設定力 ②情報収集・整理・分析力 ③まとめ・表現力 ④社会参画・自己調整力		

各学年の学習内容・指導の重点(特に身に付けたい力)						
		3～4学年(70時間)	5～6学年(70時間)	中1学年(50時間)	中2学年(70時間)	中3学年(70時間)
探究課題の体系的な資質・能力を育成を目指す	主な探究課題	『吉和の未来を考える』 【吉和の宝】 吉和の宝を見つけ、発信しよう 【福祉プロジェクト】 施設や事業所と交流しよう 【文化・伝統を受け継ぐ】 吉和の伝統を受け継いでいこう 【生き方学習】 自分を見つめて、未来を考えてみよう	『吉和の未来を考える』 【吉和の宝】 吉和の宝を見つけ、発信しよう 【福祉プロジェクト】 施設や事業所と交流しよう 【文化伝統を受け継ぐ】 吉和の伝統を受け継いでいこう 【生き方学習】 自分を見つめて、未来を考えてみよう	『吉和の未来を考える』 【吉和の未来を考えるⅠ】 ふるさと吉和の魅力や現状などについて深く調べ、提案しよう 【文化伝統を受け継ぐ】 吉和の伝統を受け継いでいこう 【福祉プロジェクト】 施設や事業所と交流しよう 『自分を磨くⅠ』 【自分を磨くⅠ】 自分を知ろう 多様な職種についての知識を増やし、「働く」ことについて考えよう	『吉和の未来を考える』 【吉和の未来を考えるⅡ】 吉和と他地域を比較・検討し、まとめよう 【文化伝統を受け継ぐ】 吉和の伝統を受け継いでいこう 【福祉プロジェクト】 施設や事業所と交流しよう 『自分を磨くⅡ』 【自分を磨くⅡ】 職場体験を通して、「働く」ことと自分とのつながりを考えよう 自分と向きあい、自分について語れるようになろう	『吉和の未来を考える』 【吉和の未来を考えるⅢ】 吉和のためにできることを考え、行動しよう 【文化伝統を受け継ぐ】 吉和の伝統を受け継いでいこう 【福祉プロジェクト】 施設や事業所と交流しよう 『自分を磨くⅢ』 【自分を磨くⅢ】 自分の生き方・進路を考えよう 自分と向きあい、自分について語れるようになろう 上級学校を訪問しよう
		○吉和の現状がわかる ○情報を比較・分類するなど探究の技能を身につけている ○地域の伝統技能を身につけている ○自分の現状がわかる	○吉和の現状や課題がわかる ○情報を比較・分類・関連付けて見るなど探究の技能を身につけている ○地域の伝統技能を身につけている ○自分の現状と課題がわかる	○沿岸地域の特色を生かしたまちづくりを知り、まちづくりの視点に気づく ○地域の伝統技能を身につけている ○地域の産業の現状がわかる ○様々な職業の仕事内容がわかる ○情報を比較・分類・関連づけて考えるなど探究の技能を身につけている	○観光地における地域の特色を生かしたまちづくりを知り、まちづくりに対する自分の視点をもっている ○地域の伝統技能を身につけている ○働くことの意義、地域産業の現状を具体的に知り、自己理解・地域理解を深めている ○情報を多面的に見る、考えを具体化するなど探究の技能を身につけている	○まちづくりと自分との関わりに気づく ○地域の伝統技能を身につけている ○人との関わりについて再認識し、自己の生き方につなげることができる ○情報を構造化する、抽象化するなど探究の技能を身につけている
	思考・判断・表現	課題の設定	興味・関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考え追究している	地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって追究している	・地域の人々の思いや自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している ・自分自身で解決の方法や手段を考え、見通しをもって計画を立て追究している	
		情報の収集	目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている	・目的に応じて手段を選択し、より効果的・効率的な方法で情報を収集している ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している	
		整理・分析	問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見つけている	視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけている	・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見つけている ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したり多面的に考察したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している	
		まとめ・表現	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的で効果的に表現している ・各教科で身につけた技能を活用して表現している	
		主体性	課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組もうとしている	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組もうとしている	自分の意志で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている	
		協働性	課題解決に向けて、身近な人とな力を合わせて探究活動に取り組んでいる	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組んでいる	自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組んでいる	
		自己理解	自分のよさや自分にできることに気付いている	探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴や課題を理解しようとしている	探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関りを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている	
	主体的に学習に取り組む態度	他者理解	自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解している	異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重し、他者と合意形成を図ろうとしている	
		社会参画	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている	探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題に取り組もうとしている	探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題解決に取り組むとともに、積極的に課題解決に対する活動に参加しようとしている	

指導方法			指導体制			評価計画		
小 中 共 通	○体験活動を重視する ○言語活動(比較・関連・根拠・説明・分析・考察・把握)を充実させる。各教科でも実践し、育てようとする資質や能力及び態度の育成を図る ○各教科で習得した知識・技能を活用させる ○異年齢集団やクラス、小グループ等による協働的な学習により、他者との意見交流をさせる		小 中 共 通	○地域の各種団体と綿密な連携をとり、必要に応じて外部人材を活用する ○異年齢集団やクラス、小グループ等の単位で学習を進めるため、全教職員での支援体制を整える		小 中 共 通	○評価の観点と評価規準を設定する ○制作物・発表・振り返りカードなどの自己評価及び相互評価を行う ○事前事後のアンケートによる児童生徒の成長分析をする ○授業の発言や発表等の様子を見取る	

各教科等との関連						
国語	語彙力、読解力、表現力	音楽	音楽によって培われる感性、感じたことを表現する力		家庭	小 家庭生活をよりよくしようとする工夫
社会	資料を読み取り活用する力	図工 美術	デザイン力、構能力、感性		外国語	コミュニケーション能力、人間関係形成力
算数 数学	論理的思考力、表やグラフを使った表現力	保健体育	健康で安全な生活を営む実践力		特別の教科 道徳	道徳的心情・判断実践意欲と態度、人間関係形成能力
理科	科学的考察力、見通しをもつ力	技術家庭	中	情報処理能力、ICT活用力	特別活動	話し合いの仕方、自主的に活動する力
地域との連携				異校種との連携		
○地域の産業、観光、福祉等の関係機関との連携 ○地域事業所との連携				○施設一体型小中一貫教育を推進する本校の特色を生かして、小・中学校の連携を密にする。とりわけ、「やまびこ太鼓」については、小学3年生以上の児童と生徒が共に学習を行う異年齢小集団活動を取り入れ、小中学校の職員で指導を行う。 ○小中の系統的な総合的な学習の時間のカリキュラムを推進する。		